

## サポート通信



## 東京の中心「千代田区」で 進化し続ける、まちづくり活動

さまざまなツールを活用し、各グループが目指す地域との共生



2018年7月22日(日)、第18回千代田まちづくりサポート公開審査会を、ちよだプラットフォームスクウェア5階会議室で開催した。各部門に応募した16グループ(はじめて部門2グループは活動企画内容の紹介、普請部門1グループは一次審査)からプレゼンテーションが行われ、一次審査および二次審査を経て、14グループのまちづくり活動に対して、総額406万円の助成を決定した。

まちづくり活動と言っても、その内容は多種多様であり、特に千代田区においては、ほかの地域では見られないようなユニークな活動を行っているグループが、前回に引き続き、多く見受けられた。それらのグループには、必ずと言っていいほどキーワードが存在している。「傘ラジオ」「幻の野菜、山東菜」、これだけを聞いて、何がまちづくりにつながるのだろうと思う人もいるだろう。しかし、多くの人を巻きこんで活動していくこれらのグループの活動は、まちに元気を与え、明るくし、地域での生活をより魅力的にする活動だと感じられた。同じく「盆踊り」「長唄」「ドローン」「ワイン」「プロレス」なども同様だ。そもそも、まちづくりという言葉は、人の捉え方によって意味合いも変わってくる。人は環境に縛られる生き物なので、やりたいことがわからない人も多い中で、失敗を恐れずに「やりたいことをとりあえずやってみる」という考え方で活動をはじめようとするグループが多いことは、スタートアップの活動を支援し、助成を行う、千代田まちづくりサポート事業の存在価値を示すものではないだろうか。

ほかのグループを見ても、近年増え続けている写真や映像などをアーカイブ化する活動をするグループは、集積した情報を今後どのようにして地域に還元していくのか楽しみだ。地域の交流拠点としての場を提供し、学ぶことをテーマにイベントを行うグループも活動を継続している。

普請部門では、前々回に助成を受けて、地域の拠点としている海老原商店が、まちづくり活動を行うグループの活動拠点になっているように、今回、一次審査を通過した「神田珈琲園 再生プロジェクトチーム」は、二次審査でも審査基準をクリアし、昭和の神田を象徴するような歴史・文化的な建物の雰囲気を残しつつ、地域交流やネットワーク構築の場として再生してほしい。

日本において、希薄と言われている人間関係や地域社会を今後活性化させ、育てていくのは、これらのグループかも知れない。

### 目次

#### 【第18回応募グループ】

#### 【一般部門】

#### (3回目)

文人通りギャラリーカフェ「学び舎」 2

神田プロレス 2

#### (2回目)

一般社団法人神田をワインの街にしようの会 2

ちよロケ(ちよだロケーションサービスをつくる会) 3

一般社団法人 協働プラットフォーム 3

Chee's 3

#### (1回目)

三崎町SMILEプロジェクト 4

江戸長唄こひいぎ衆 4

かさらじお・どっとこむ@秋葉原 4

東京都青果物商業協同組合 5

やっちゃば秋葉原実行委員会 5

秋葉原まちのコミュニティ 5

今昔千写 5

ちよだ♥チェーン(ちよだで遊ぶ会) 6

神田錦町キンキン組 6

お茶の水口ポットクラブ 6

#### 【はじめて部門】

NPO法人芸術資源開発機構(ARDA) 7

Chiyoda Bon-dance Mates 7

#### 【普請部門(一次審査)】

「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム 7

審査会委員講評、総評 8

第18回千代田まちづくりサポート審査表 12

賛助会員一覧 12

### 審査会委員 紹介

会長 なかしま なおと  
**中島 直人**  
東京大学大学院工学系研究科 准教授・博士(工学)

副会長 おくむら げん  
**奥村 玄**  
株式会社 GEN プランニング 代表取締役

委員 かたおか しょうご  
**片岡 勝吾**  
麹町五丁目町会 副会長

委員 ごとう よしひさ  
**後藤 禎久**  
市井人・齋藤月峯に学ぶ会 会長

委員 あさひな  
**朝比奈 ゆり**  
東京ボランティア・市民活動センター 専門員

委員 ほった あきのぶ  
**堀田 昭信**  
興産信用金庫 お客様支援部 シニアチーフアドバイザー

委員 おんだ ひるゆき  
**恩田 浩之**  
千代田区 コミュニティ総務課長

編集・発行：公益財団法人 まちみらい千代田 まちづくり推進担当

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア4F TEL.03-3233-7556 FAX.03-3233-7557

<https://www.mm-chiyoda.or.jp> E-mail machisapo@mm-chiyoda.or.jp

## 1 番町麴町地域を中心に千代田区全域をキャンパスとし、区内で活動する人を講師として、誰もが先生、生徒になり、お互いに学び合うことで人と人とのつながりを持たせる。(文人通りギャラリーカフェ「学び舎」)(一般部門・3回目)



今年度は新しいメンバーも加え、さらに地域住民の交流を目指す。場所は今年も文人通りの中央にあるカフェ・アマルフィで活動している。この地域は昔からの住民と、マンションに居住する新住民がおり、新旧の交流を図りたい。関西など、ほかの地域から移り住んだ人もいるので、この活動や趣味を通してつながりが生まれればと思う。

これまで月1回、水餃子作りやフラワーアレンジメントなどの教室を開き、学びながら仲間づくりができた。参加者の中からテーマにより講師を選び、講座終了後にお茶とお菓子を頂きながら交流する。

活動を継続し、特に3年目は、学び舎として成長するように、「学び、成長、仲間、達成感、出会い」を目指していきたい。

4年目の自立に向けて、広報にも力を入れる。助成金を得て、チラシやポスターを作成し、カフェの前に看板も設置する。

第1回は7月29日、親子で「飾り寿司作り」を開催した。これは初の試みだった。年間通してさまざまな活動を企画し実施していく。

Q: 来年度の活動費用はどうか?

A: 今年度の広告・看板は、プロに依頼する。来年度も活動を継続していくために参加費の徴収も検討する。不安もあるが何とかしたい。

Q: 対象者はどういう人たちなのか? 看板のアイデアは何かあるのか?

A: 活動は口コミでも区内全体に広めたい。年間計画を早めに看板で伝える。

Q: 参加してよかった点は何か? 継続していきたいのはいくことか?

A: 人とのつながりや発見が一番の魅力だと思う。

## 2 ご当地プロレスで地域と子どもたちに元気を!(神田プロレス)(一般部門・3回目)



神保町でカレー店を営み、劇団員なので子どもたちへのお話会もしている。店の従業員にプロのレスラーがいて、まち起こしとして、「神田プロレス」をつくった。最初は小川町のスポーツ店の広場で神田スポーツ祭のイベントとして行った。

翌年から、まちサポの助成金をいただき、神田明神の地下ホールでプロレスイベントを開催した。レスラー「神田カレーマスク」などがリングに登場する子ども向けの入場無料のイベントとなっている。ワークショップやお話会も開く。神田のお蕎麦屋で働くレスラーや地元の高校出身のご当地レスラーが集まるようになった。

今年度は3年目で、10月に神田スポーツ祭で、3月31日には神田明神の境内で『神田明神奉納プロレス&こどもフェスタ』を開催予定している。まちサポのほかのグループと一緒にワーク

ショップや飲食も出すお祭りにしたい。まちサポの助成が終了後も続けられるように、毎年開催されているまちの行事イベントとして、文化になるとうれしい。まちサポのおかげで企業や自治体、商店会にも働きかけやすくなった。

Q: 活動を継続するにはどうするのか?

A: 千代田区の「チャンピオンベルト」をつくりたい。その資金協力を呼びかけ、リングの下に垂れ幕を付けてスポンサーを募る。

Q: 区の行事と連携するのか?

A: 区のさくらまつりと連携させていただく。その時は神田明神で区の周遊バスも止まる。

Q: 地域の会での出会いや声かけはあったか? また、子どもたちの反応はどうか?

A: まさに地域の人に会いつながりが生まれた。ちびっ子プロレス教室の子どもが増え、学校でもチラシを配ってくれるようになった。子どもたちの楽しめることをほかにも考えていく。

## 3 神田をワイン色にして、あたたかな人のつながりのある街にするプロジェクト(一般社団法人神田をワインの街にしようの会)(一般部門・2回目)



ワインを通して、神田の街にコミュニティをつくりたい。今年も10月20日(土)にJR神田駅周辺でワイン祭りを行う。活動の資料をプレゼン用に55枚作成した。神田の地域は広く、祭りの街でにぎやかだと思われがちだが、普通のオフィス街・商店街で土曜日は、夜に女性が立ち寄りには不安な感じもする。

神田駅はきれいになったが、大手町と日本橋に挟まれて、あまり特徴もない。この街を活性化するためにコミュニティをつくり、ワイン祭りを開催してきた。去年は雨で大変だったが、参加者はいい顔をしていて、アンケートの7割はいい評価をいただいた。祭りの準備も大変だが、ブログでも発信し、NHKでも取り上げてくれた。

今年度は、神田駅近くの今川中学校廃校跡地で、ぶどうの栽培

を始めた。オリジナル「神田ワイン」をつくりたい。また活動を町会の方が認めておみこしを担いでくれることになった。神田を緑のある街にし、所々にワイン畑をつくる。人手不足もあり実行委員に負担もかかっているため、助成金で体制を強化したい。

Q: 参加への意識的なきっかけづくりの工夫は具体的に何かあるのか?

A: ワインをシェアする楽しさを通して、神田への興味や愛着心へ働きかけている。

Q: 活動の街への影響はあるか? また、助成金がなくとも参加者の会費で賄えるのでは?

A: 会員の負担で費用を維持し、利益はあげない。神田に定着し、規模を拡大して参加者に還元する。今は助成金がなければ赤字になる。ワイン店から常連の客が増えたことと喜ばれ、確実に神田の街に来る人が増えている。将来はワイン通りもつくりたい。

Q: 旧今川中学校跡地でのぶどう栽培は可能か?

A: 山梨の酒造メーカーに来ていただいて指導を受けている。

## 4

## ちよだの魅力を映像を通じて紹介する（千代田区内の観光名所、景観資源などを映像作品で紹介し街の魅力を伝えていく）（ちよロケ（ちよだロケーションサービスをつくる会））（一般部門・2回目）



1年目は区内の観光資源等を映像で紹介し、千代田の魅力を伝えていく活動をした。地域のイベントにも参加し、季節ごとのまちの映像を作品として上映し、インターネットで配信した。制作した「子どもの遊び場PR動画」は、区の公式チャンネルで配信されている。

今年度は区を4つのエリアに分け、独自の視点でまちの豊かな景観資源を紹介する映像作品を制作する。レンタル自転車を使い区内を移動して、まちの日常の様子も撮影する。

また、若手クリエイターの育成も目的に、千代田の景観資源を使いテーマに沿った映像作品の制作を、撮影編・編集編と無償で行うワークショップも実施する。

今年のテーマの1つは「坂道」で、プロの映像の方を招いて行いたい。

Q：坂には、名称の由来が記載された看板が設置されている。集め

てはどうか？若手クリエイターの育成は具体的にどうするのか？

A：お茶の水だけでも坂が多いので、これを掘り下げたい。若手育成は28団体の協力を得て、区内の学生を優先し実施する。

Q：会の仕組みづくりはどう考えているのか？

A：千代田区は広く、景観情報も一元化されていない。まず足で映像と情報を集める事を目標とする。収集だけでは意味がないので、それを生かす企画も考えてやっている。

Q：ロケーションサービスとは何か？

A：観光協会もあるが、ロケーションを行う人にまちのガイド情報の一元化を図り提供する。

Q：集めた映像を見られるような場所などはないのか？

A：秋葉原で配信している。もう少し集めてクオリティを高めれば、観光協会や区役所、銀行、宿泊施設に働きかける。BGMの音楽提供も募っている。オファーを受けて来年には上映配信も実現したい。

## 5

## 千代田・神田デジタルアーカイブズの構築とWeb（一般社団法人 協働プラットフォーム）（一般部門・2回目）



昨年助成を受け、地域の映像や音声の勉強会で写真を持ち寄って語り合い、多世代の新旧住民との協力の場をつくる活動をした。看板建築の海老原商店を拠点に月1回神田の歴史や文化を学ぶ「神田市中山居の会」をデジタルアーカイブに撮り公開した。今年は場所を

神田美土代町に移して継続する。来年3月に神田駅100周年を迎え、これを機に振り返り、未来へのアーカイブづくりに挑戦する。音声で録音している貴重な語りを、インターネットラジオの番組「神田・ウェブラジオ」にし、スマホのアプリでも聞けるようにする。結果的にコミュニティの形成もでき、地域の産業振興にもつながる。

スタジオは駅周辺のエリアマネジメント協会と連携し、9月オープンの神田駅インフォメーションセンター内で、8月にラジオ局

スタジオを開設する。そのイベントとラジオ放送を一体にしてアーカイブの内容を発信し、千代田は全国各地と交流があるので、地方の団体や自治体ともつながる。

Q：神田インフォメーションセンターが活動の場所になるのか？

A：エリアマネジメント協会が主体で、ウェブラジオのスタジオ部門を担当する。センターでは多言語を使った、スポーツとも連携したまち歩きのパログラム提供をする。

Q：実際にはどんな風に人々が出会うのか？

A：商店街の方や自治体関係者もスタジオに招き地域の課題についてインタビュー番組にする。交流イベントも新旧住民の関わりができる。

Q：アーカイブとラジオ番組の関係性は？

A：アーカイブの語りから入り、ラジオ番組で過去の歴史を振り返る。語りと関係する資料を提供して映像と合わせて発信していく。

## 6

## 千代田で感じたことをみんなでChee's（地図）にする（Chee's）（一般部門・2回目）



去年は千代田を調べて、皆でつくるWebメディア「Chee's（チーズ）」を立ち上げた。まちを実際に歩いて取材した記事を更新しグリーンマップ（世界共通のグローバルアイコンで表す地図）をつくる。地図に歩いたスポットをアイコンで示す。6月に上智大学と共催で、グリーンマップイベントを実施した。

2015年には「グリーンネイバーフッド千代田を目指す会」として活動を始めた。多世代の人が交流しながらまちを歩き、音声を入れて違った視点でまちを見ていく。去年はイベントが1度しかできずWebマップにできなかった。今年こそ実現し、千代田に役立つマップを公開したい。

11月17日に第1回まち歩きを予定している。もっと多くの人に活動を知ってもらうために、今年は集客力のある、取材に関

わった人たちによるイベントを企画する。グリーンマップは、まちの研究の意味合いが強くまち歩きに関心のある人が対象だが、イベントは関心のない人にも興味を持ってもらうものを目指す。

大学との連携や出店も予定している。地域活動のデザインや工夫はChee'sに聞くという流れができていると感じている。

Q：アイコン自体は誰でもわかるものなのか？

A：グリーンマップの中で使われる公式のアイコンがあり、そこから選んで表示する。アイコンを追って目的地に行ける。

Q：広報の仕方や工夫はあるのか？

A：会にはデザインや写真が得意な人も多く、ポスターやカードづくりの様子を見せることができるので、学生にも呼びかける。

Q：アイコンの認知度はどうか？もっと認知度を上げる必要もあるのではないか？

A：一般にもわかりやすいオリジナルのアイコンを考え、グリーンマップ本部に提案もする。

## 7 神田三崎町祭り～笑顔で作ろうみんなの和～

(三崎町 SMILE プロジェクト) (一般部門・1回目)



我々の大学がある神田三崎町は大学や会社が多く、東京ドームもあり人にあふれている。一方で通勤や通学、イベントに行くだけの通過点になっている。今の神田三崎町の問題点と考え、多くの人に神田三崎町の魅力を伝え、地域一帯を活性化していく活動にする。

昨年度はフリーペーパーをつくり、協力していただいたお店を紹介した。飲食店のクーポン券を付けて三崎町への興味や関心を引き出した。今年度はまずパンフレットを作成し、3回の交流イベントの実施を考えている。

パンフレットは、より詳しくし、広く利用してもらおう。交流イベントでは「50年前と今の神田三崎町」というテーマを設定し、普段は関わることがない学生や町会の方、教授を招き幅広い世代が交流する(8月に1回目)。

9月は三崎神社縁日に出店とパンフレットを作成する。内容は飲食店の紹介とクーポン券・マップ・イベントの案内を掲載する。イベントの内容は、トークディスカッションとグループワークでテーマを決めて五感を使ったまち歩きを行う。印刷業が多いので、その写真を撮る。

今後の課題であるメンバー不足を解決し、役割分担して活動する。学生ならではの視点で、神田三崎町の中に入り、地域に貢献したい。

Q: 活動のメンバーをどうやって集めたのか? また、日常的な活動は何か?

A: 祭りで参加を呼びかけ、縁日でも好評を得た。定期的に話し合い飲食店の取材などに行った。

Q: パンフの内容を充実させるには、神田三崎町の歴史や文化を掘り下げる必要がある。日常の中で人に絞って取材した内容を生かしてコンテンツを作る。その上でのイベントを行った方が良く考える。

## 8 三味線の音が響く粋なまちづくり～長唄をきっかけにつながる、広がる～

(江戸長唄ごひいき衆) (一般部門・1回目)



江戸長唄は、歌舞伎の伴奏曲として三味線とともに発達した。多くは国立劇場のホールで演奏する。江戸長唄を通じて江戸・東京の伝統や文化を知り、まちに親しむ機会をつくる。一般には馴染みのない層や若い人は聴く事も少ない長唄を披露し、コミュニケーションツールにして輪を広げていく。地域や世代を超えて人を巻き込む事ができると実感した。

きっかけは、みんなで長唄を歌えば楽しいのではというシンプルなもの。まちに三味線の音が流れるのが好きで、まちで開催されるイベントで演奏したり、トーク&ライブで、長唄の内容や背景の解説も加える。江戸の文化やまちの変遷に興味のある人や、地域活動をする人に訴えかけたい。

海老原商店で月例稽古を実施する。8月は七夕ミニライブ・

演奏を行う。聴き所を知るために歌舞伎鑑賞の前にミニレクチャーをする。多くの参加を求め、具体的なお披露目の舞台を設定するために応募した。

Q: メンバーはどのくらいいるのか?

A: 20代~30代とシニアで10人ほどいる。

Q: 長唄を身近に楽しめる工夫はあるのか?

A: 歌舞伎勸進帳や京都の能楽大連吟など、大人数でも一体感を持って長唄は楽しめる。長唄を流して、まちの再発見できる活動にしたい。

Q: なぜ神田でやるのか、もう少し説明をお願いします。

A: 神田明神下に花街があり、町会長のお話では、昔は長唄や三味線のお師匠さんもいて音がまちに流れていたそうです。麹町にも江戸と東京がつながっていると感じる場所が多い。歴史があってまち起こしができるのが魅力だと思う。

Q: まちの皆さんに還元できる活動を望みます。

## 9 傘とラジオと秋葉原～次世代育成とコンテンツ醸成～

(かさらじお・どっとこむ@秋葉原) (一般部門・1回目)



秋葉原は電気街が有名で、かつてラジオ少年が集った。ゲームやスマホ世代の子どもたちにはサブカルチャーの街として認識されている。ラジオ世代のおじさんたちとスマホ世代の子どもたちをつなぐ到底ラジオとは思えない「傘の形をしたラジオ」。子どもたちも興味を持つ。秋葉原でしか買えない特殊な電子部品と日用品でつくる、電池なしで聞こえるエコラジオです。

科学の世界の重要な入り口になる科学の教材と考える。「電波はエネルギーを運ぶ」という電子の法則による電子部品で、まずはつくってもらい、ワークショップで実際にやると感動して、子どもたちがいい表情になる。例えば、洗濯ばさみでチャンネルが変えられる。それを母親へ得意げに説明する子どもがいた。昨年、秋葉原UDXの夏祭りで開催し、まち行く人にも体感してもらった。

今年度は普及の種まきを考え、応募した。2年目以降は、人材育成にもつなげていきたい。

Q: 災害時にも使えるのではないかと?

A: ビニール傘、落し物の傘を利用でき、エコだと思うが、今は忘れられている。

Q: 秋葉原以外では手に入らない電子部品とのことだが、いくらするのか?

A: イヤホンが400円、電線が200円、そのほかに材料費が100円くらいかかる。

Q: これはゲルマニウムラジオなのか?

A: それを今の子どもたちは知らないなので、異なる名前で現代の若い人に教えたいと思った。

Q: 傘としても使用できるのか?

A: ラジオを聞く時は横に向け、子どもの疑問には物理の現象を説明する。



東京都の八百屋の集まりで、野菜や果物のおいしさ・すばらしさを伝え、健康や家庭にも欠かせない大切な物を扱っている事を日々実感し活動している。去年11月、秋葉原駅前、青果の食育、消費拡大を目的に「やっチャば秋葉原～学べるマルシェ～」を東京都青果物商業協同組合が初めて主催した。天候にも恵まれ秋葉原公園に約6,000人が来場した。地元町会や千代田区、生産者の協力もあり、盛況で一定の成果が得られた。

今後はもっと八百屋らしく秋葉原らしいイベントを地域に根ざして継続したいと考え、応募した。青果に関する物・人・知識を生かし、活気ある対面での活動で、地域の交流の良ききっかけになる。まちは「やっチャば」(青物市場)で栄えてきた。

秋葉原の風土や歴史に関する企画や展示を工夫し、今に伝え

ていく。相乗効果も期待できる。テーマは山東菜を取り上げる。かつては家庭の定番料理の野菜だったが、今では12月初旬に少し出荷量があるだけになってしまった。この山東菜で今年も秋葉原公園で盛大なイベントを開きたい。

具体的には12月に「山東菜市」の開催を予定している。特に子どもたちへの企画を大切に、口コミで徐々に、確実に広げることを目指す。最終的には、暮れにしか流通しない山東菜が、季節の風物詩となるように地域とともに活動する。

Q: 活動の周知や広報はどのように行ったのか?

A: 町会の協力と八百屋や小学校で告知していただいた。ホームページでも伝えた。

Q: 山東菜はどこで生産されているのか?

A: 今は埼玉、茨城などで生産され、昔は庶民の野菜だったが、多くは白菜に変わった。昔は山東菜を搬入する車で道路が渋滞した。



日常から地元でものづくりをしている。オフィスを千代田区に移転したのを機に千代田区をもっと知り、まちに関わりたいと考え、活動を企画した。ともに協力し、楽しめる仲間と、まちに貢献したいと思った。出会った地元の人と話し合い、仕事で知り合ったまちづくりに関心のある若手を中心に集まった。

初年度のキーワードは、「日常からの防災」。いざという時に助け合えるつながりを大切に活動を行う。具体的には8月に、「防災ピクニック」のイベントを予定している。おもな内容は、被災時に役立つ衣服を紹介する。「衣」と「食」に特化した防災グッズの体験会で、場所は千代田区の許可を受け、昌平橋東橋詰広場に決まった。振り返りの勉強会を6月に1回目を実施し、フェイスブックグループを立ち上げた。

応募の理由は、資金だけでなく区内のほかの活動を知り、交流したいと思った。

Q: 区の防災との連携は模索しているのか?

A: 旧今川中学校での防災訓練にも参加した。今後、区の防災と連携をしたいが、民間にこそできる活動を徐々に、確実にやっていく。

Q: まちづくりと防災活動との関係は?

A: まちづくりの1つとして新旧住民の交流を図り、防災をテーマに人とつながり、身近でできることをする。

Q: 地域でも自主防災体制がある。それと連携する活動になるのか?

A: 既成の組織や活動の邪魔になってはいけないので、相談をしてアドバイスも受ける。

Q: 既存のコミュニティも多い。まず、それらをよく見て、できる事をする。その場でもつながり、学ぶのが大切ではないか?

A: 肝に銘じていく。ありがとうございます。



急速に変わっていくまち並みや人の姿を写真に残す活動を行う。明治、大正、昭和の古い写真は失われていく。1枚でも多くの写真を発掘し、保全を図ることで、まちの歴史を記録し後世に伝えたい。現在と比較したエピソードも伝える。日本の中心、千代田区だが観光資源が少ないという声もあり、皇居や秋葉原以外はあまり知られていない。江戸時代に江戸は日本の中心で、江戸城・皇居から発展して、今の千代田区がある。

大正時代には市電が、昭和には高速道路ができた。今は1つの建物も周りの景色も変わる。隠れている歴史・情報を広く発掘したい。高齢のお元気な方にお話も伺いたい。

埋もれてしまう情報・写真をホームページで公開するためにデータベース化する。千代田の過去、現在の写真を収集し、検索

を可能にする。

Q: 具体的な人、物はあるのか?

A: メンバーに写真を保存している人が多い。そこから徐々に輪を広げていく。

Q: まちづくりに生かす視点を持ち、活動過程で参加を呼びかけてはどうか?

A: ホームページだけでなく、色々な方に関わっていただきたいと思う。

Q: 区にも図書館などに多くの資料があるが?

A: 秋葉原で勉強会をした時、失われてしまいそうな物を撮った。時間を置いてまた撮る。人のお話はぜひ聞きに行きたい。

Q: 意味づけながらデータを集め掘り下げていくことで身近な情報となる。なぜ今に残ったのかを考え、経緯を記録しつつ、まちづくりで大事なことを伝えてほしい。

A: 区の施設で発表会するなど、区にも働きかけていく。そこで情報を得ることもある。



千代田区に住み、江戸東京ガイドの会の創設メンバーとして活動を開始した。「おさんぼ神保町」のボランティアガイドもした。今年2月には、「江戸長唄ごひき衆」のエンタメ班として参加した。千代田区の事を知りたい人は多い。住民の人口は少ないが、在勤、在学者や外国人観光客も多く、リピーターの方もいる。

区内には多様な地区があり、それぞれ強い特色と魅力がある。豊富な資源に敬意と愛着を持ち、「遊ぶ」をキーワードに気楽に、世代や地域を越えた交流を生み出したい。

すでに5月にまち歩き「映画のような街、日比谷散策」を実施した。9月には「月見の宴」九段坂のまち歩きと長唄を行う。10月にはロボットイベントのトレーナー養成講座を行う。11月には街歩きとロボットイベント開催する。来年3月には「花見の宴」千鳥ヶ

淵散策と夜桜に能の観賞を行う。

今年は1年目、ほかのグループと連携して、交流を図る。地元住民の視点で地域の魅力を発信する。活動で普通は足を踏み入れない地区を直接体験できる。住民のニーズを丁寧に拾い、展開していきたい。

Q：個人活動のように感じた。メンバーはいるのか？

A：地域でのボランティアによって知り合い、またやりたいと言う人たちが、若者から高齢者まで幅広い年代の仲間が集まった。話し合っ、イベントのまち歩きもやってきた。

Q：ロボットイベントの説明を聞きたい。

A：もともと秋葉原でIT関係の仕事をしてきたこともあり、ロボットイベントにつながった。

Q：活動は、どういう人に働きかけるのか？

A：若い人や高齢者の方々、それぞれ同じ世代が固まりやすい。その世代間の垣根を越えて新しい活動をやりたいと思う。



代表者は、神田錦町の住民で町会の会員でもある。昔からの住民が高齢化や開発で減る一方、新しいマンションに若い単身者や子どものいる家族が増えた。新旧住民の交流が進まないのは、錦町には交流の場や機会が少ないからだと考えた。誰もが気軽に立ち寄り、参加できる魅力的な場をつくり、人々をつなげたい。

近くにキンキン広場ができ、2月に子どもたちも一緒にやれる餅つき大会を初めて4つの町会合同で開催した。多くの参加者に恵まれ、新旧住民のつながりもできた。餅を使って人々をつないでいく企画を練り直した。

まず、餅の原料の米を学ぶセミナーを「ちよだいちば」の全面協力を得て開催した。契約米農家を紹介され視察ツアーを行う。将来は農家の方と一緒に田んぼを作り「神田ニシキ」というブ

ランド米を作り、ブランド化も図る。サテライトタウンを開くことを目指し、働く人の癒しの場にしたい。

Q：メンバーは、各町会の人で構成されているのか？町会の活動には、区から補助金がでるが？

A：錦町の四町会で何十年ぶりに餅つき大会を実現した。しかし、資金不足は否めない。

Q：餅つき大会は企業からも協賛金でたとのことだが、継続には今後もそれを求めるか？

A：これまでは神田祭くらいしかイベントもなかった。餅つき大会だけでなく日帰りの農家ツアーも行い、バスの中で交流も深まった。町会ではできないことをしたい。

Q：町会の中でメンバーが出ていない会は？

A：すべての町会から出していただいた。錦町連合町会は氏子が違うので、錦町一丁目町会は入っていない。今回の餅つき大会で初めて実現したので、この火を絶やしたくないと思う。



子どもたちにロボットプログラミング体験の機会を提供してきた。今回、ドローンを使ったプログラミング体験を開発・提供したい。また、まちサポのほかのグループと一緒に活動したいと思い、応募した。

神田淡路町の1階のサロンやワテラスを無料でお借りし、昨年は10回以上のイベントでロボットプログラミングに約240名の子どもたちが参加した。千代田区でなぜドローンかというと、千代田区はタワーマンションができ、人口が急増し、若い夫婦も多い。子どもたち、小学生に体験させたいと考えた。

2020年からプログラミングは小学校で必修に科目となった。ロボットやドローンの最新技術で学校ではできない技術体験を

提供する。子どもが単に操縦ではなく、ドローンを自動航行させ、将来につながるような技術を楽しみつつ学習する。ドローンで指を切ったりもすることもあるので、ドローンは、飛行用の蚊帳の中でドローンを飛ばしたりする。

Q：実施スケジュールは？また、千代田区で開催する活動の頻度は？

A：夏から企画開発し、秋にはテストパイロットを行う。冬に本格的に実施し、月1回行っていく。今後の回数は調整する。

Q：活動メンバーは地元の人が多いのか？参加者は何割が千代田区の子どもたちか？

A：募集はインターネットとワテラスコモンで周知しているので、いろいろな所から来る。千代田区の子どもたちにも触れてほしい。

Q：参加の子どもたちには負担はないのか？

A：無償の体験と、ドローンの練習イベントは参加費500円で、それで保険代も賄う。

## 16 アートを通して人！街！と出会おう！

(NPO法人芸術資源開発機構 (ARDA) (はじめて部門))



市民や行政、企業と協力し、新しい芸術と人々の関係を築きつつ、芸術のさまざまな活動を通して社会に寄与する。他者と対話しながらアート作品を鑑賞し、多種多様なアートを楽しむ。幼稚園や保育園、高齢者施設などに美術・音楽・演劇・ダンスのプロを派遣してアートのワークショップを開催する。

次に市民ボランティアにより、美術館や小学校で対話型美術鑑賞を行う。さまざまなアート作品を話し合うことで考え、観察力や思考力、コミュニケーション力が養われる。ニューヨーク近代美術館で開発された技法である。日本の子どもと学校環境に応じたプログラムの社会的講座を開催している。

今年、ARDAの機能を千代田区に移し、区民や在勤の皆さまとの出会いを求めて、応募した。民間活動として、メンバーの一人がプロジェクターを使い、月に1回アートについて解説し、皆さまと語り合う。知識のあるアートファンや専門家が希望者に向けて活動する。今回は東京国立近代美術館で、都市を舞台に活動した現代アーティスト「ゴードン・マッタ・クラーク展」を参加者と対話して鑑賞する。その後、皇居から神田のまちに出てワークショップを開催する。

この千代田で子どもからお年寄りまで関わりながら、新しい活動の可能性を考えて行きたい。

Q：アートがまちや生活の中に溶け込むことを願う。次のステップアップのプランを持ち、ぜひ計画的に千代田区でやってほしい。

A：千代田区で何をするのが効果的なのかを考えて行動する。

## 17 外国人を含む千代田区民、在勤在学者で東京五輪音頭2020を踊り世界の友達を作ろう

(Chiyoda Bon - dance Mates) (はじめて部門)



夏は盆踊りシーズンで、これから千代田区内で盆踊りがある。日本の文化である盆踊りは、多くの地元の人や外国人観光客も踊っている。東京オリンピックシーズンに向けて血が騒ぐような盆踊りをいろいろな方と踊っていきたくて企画した。

新しい東京五輪音頭2020を踊ることで、世界に千代田の魅力を発信したい。「世界にお友だちを作ろう」を目的としている。活動の内容としては踊るだけではなく、歴史や背景、または各国の古典舞踊についても学ぶ。

今の曲はアップテンポすぎて、ついていけないという声もあり、最近はそのスローバージョンが出た。それでより多くの人踊れると思うが、基本は練習して覚えること。千代田区には多

くの大使館もあるので、ご協力が得られれば、そこのお庭で踊ったり、区内のイベントに参加もしたい。

多くの学校でも、小学生から大学生まで、みんなで踊りたいと思っている。

Q：誰が音楽をかけるのか？大使館でやるなら、相互の交流が大事で、外国の踊りもできるのでは？

A：千代田区のDJや音楽関係者がいる。いろいろな曲があり、そこにこだわるわけではなく、気運を高めたい。

Q：日本のお盆には先祖がこの世に戻って来て、家族と再会する意味があるが、各国独自の死生観もあり、踊りには文化もある。それも深く学び、生かしてはどうか？

A：日本の盆踊りの意味を考え、各国の死生観と踊りも勉強して理解する努力をしたいと考えている。いろんな人と踊りたい。

## 18 JR神田高架下で創業60年、地域に愛され続ける「神田珈琲園」の再生

(「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム) (普請部門・一次審査)



自家焙煎の豆を使い、心を込めたおいしい珈琲だけでなく、お客様のコミュニケーションや地域交流の場としても愛されて来た。近年、JR高架の耐震補強工事に伴い、昔からの店舗が解体・建て替えを迫られ廃業や移転した。神田珈琲園は、将来もこの地で続けたいとJRと交渉し、高架下補強工事後に解体し、新築して継続することになった。建築家山本厚生氏の設計で30年前に改修を行った。近年、高齢の同氏からも再生を相談され、「としまち研」が依頼を受けた。

一時休業になった珈琲園に100件を超える営業再開を望む声寄せられ、今の雰囲気を残して欲しいという声も多い。昭和を象徴する店舗が無くなる中、新築にもかかわらずの趣を残し、のれんを引き継いでいくことが望まれる。地域起こし、まちづくりの活動拠点としても役立てることを目標にする。

新しい店舗の設計は、若手メンバーの有志が担当し、打ち合

わせを進めている。展示スペースの使用など、地域に開かれた場としての活用を検討している。設計から竣工までの記録をどう残すかも考え、JRとの工事区分やスケジュールを確認し、協議を行った。11月末に工事は完了を予定している。そして、12月から新築工事に着工する。その間に活動を進め、同様の店の視察や、協力者の参加の形を検討する。

昭和33年に喫茶店を開いた時、自分はまだ生まれていない。話を聞くと、母が煎りたて・挽きたての珈琲の味を大事にしたいと、焙煎機を入れオープンした。当時は都庁も千代田区にあって人どおりも多く、昼も夜も満席になり、1日1,000人位の集客数だったという。

しかし都庁の移転と時代の変化で売り上げが落ち、一度は閉店を考えたが、地元の人から、「私たちの珈琲園を奪うな」と言われた。何とか続けることができ、昭和のイメージを大事にしてきた。その人たちとも相談し集客数を上げようと、2階のスペースで展示会を開催した。遠くから来てくれる方もいた。日曜日の営業では、「あっ、まだやっていた」という声もあり、学生時

代や若い会員の頃を懐かしがっていた。続けてきてよかったと思った。

やがて、近所のピアノ教室での発表会後に慰労会を開いてくれたり、山登りの会や婚活パーティーなど、いろいろ利用されるようになった。今は、神田にもたくさんのマンションが建ち、新住民が新しい文化を持って来てくれると思う。それと従来の文化とミックスさせていきたい。2年に1回、神田祭があるが、鍛冶町一丁目では、金・土・日と毎週みこしを出し、金曜日には珈琲園で珈琲を飲む。60年の歴史をかみしめている。

この場所で今後も続け、物も文化もいいものは伝えていきたいと思う。

Q：文化や珈琲園のファンを大切にするために内装はどうするのか？  
スペースの展示プランは？

A：構造から考えている。高架はJRの仕事なので、私たちは内装を考える。昭和のイメージを大事に床や壁、1階と2階のつなぎ方、家具も再利用して、趣を変えないようにする。

Q：多くの喫茶店、珈琲店があった中で、これまで維持継続できた

秘訣は何か？

A：チェーン店化した事もある。交流を大切にし、高齢者の生存確認にも役立ってきた。誰でも安心して入りやすい店を心がけた。

Q：ファサード全面のガラスの耐震は？その具体的案や、設計のコンセプトは何か？

A：壁、天井を高架壁から離す。吹き抜けと階段を生かした設計とする。JRの解体工事、耐震補強工事が8月に終わり、その後には店舗の建設が始まる。ポーリング調査もあり、建物の耐震もクリアし、規模も決まる。

Q：受け継ぐべきエッセンス、キーワードや考え方を明確にして具体的に進めるようにしてほしい。

Q：5,000万円の予算のうち、助成希望額は500万円だが、何に使うのか？

A：JRの規定での鉄筋コンクリートとし、内装は吹き抜け部分とファサード前面のスティール部分や厨房機器などに費用がかかる。既存の物は残せれば活用する。

## 審査会委員講評

### 中島会長

#### ■神田プロレス

1年目、2年目と審査会委員の予想を上回る活動成果を出し、神田とプロレス、そして子どもたちの深い絆を築き上げてきた神田プロレス。3年目に期待されるのは、3月31日、桜の時期について神田明神境内で開催予定のイベントの成功とともに、来年度以降の継続性を見据えて、会の運営の足場を確かなものにする事である。審査会でもその点についての質疑があったが、良い意味で今年度も審査会委員の予想や期待を裏切って、活動をさらに広げ、深めてほしい。

#### ■ちよだ♥チェーン（ちよだで遊ぶ会）

千代田区で長いことボランティアガイドを務めてきて、千代田区の魅力の隅々までご存じの代表者による「遊ぶ」をキーワードにした、千代田区内地域間、世代間交流を目指した活動で、そうした活動の重要性は審査会委員の間で共有されたものの、残念ながら具体的な企画内容が他グループの活動に依存するところが多いように見受けられ、この会独自の核となる活動が何か不鮮明

であった。とはいえ、まちづくりの成熟期にあって、求められているのはさまざまな活動や人々をネットワークにして新たな価値を生み出すことであることは確かなので、ぜひ、実際に活動を展開し、その成果をもって審査会委員の目を開かせてほしい。

#### ■「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム

まちなかの喫茶店は都市における大事な公共圏を形成してきた。神田駅高架下で創業60年を迎える神田珈琲園が、これからも引き続き営業を続けていく決断をされたことに、まずは敬意を表したい。その上で、JR側の耐震補強工事後の再建にあたっては、まちの記憶としてのこれまでの店舗の内外装の特徴をどのようにしたら継承してけるのか、また、展示スペースや地域交流イベントなどを通じて、地域との関係を従来以上に深め、広げていくにはどのようなアイデアがありうるのか、といった点の検討を進めて、二次審査に臨んでほしい。



### 奥村副会長

#### ■ちよロケ（ちよだロケーションサービスをつくる会）

映像作品は作品そのもので評価されることが多いが、ちよだロケーションサービスの活動は、まちに潜んでいる“物語がブン漂う映像”をあぶり出すプロセスに醍醐味があると感じている。メンバーの提供するロケ地は、実にさまざまな顔を見せてくれる。現代都市の街並みや歴史を物語る大きな風景はどちらかというと背景となり、風情漂う横丁や暮らしの息遣いが中心に見える。それが千代田のまちの重層的な魅力だと実感される。まちづくり活動は、さまざまな人との関わりを豊かにすることだと考える。“珠玉の瞬間を発見するプロセス”の楽しみ方を伝え広げていく機会を積極的に作り出しただけだと嬉しい。いくつかの作品を改めて拝見してそう思った。

#### ■一般社団法人神田をワインの街にしようの会

ただの酒好きの集まりではない。飲み屋で隣り合った人やお店の主人と意気投合し、まちづくりにつながることを目標としている、いわばコミュニティカフェのワイン版である。今年子どもたちと一緒にワインのブドウの栽培を始めたという。願わくはその果実を大人が独占するのではなく子どもと共有してほしい。もちろん子どもにワインを提供するわけにはいかないの、ひと工夫を楽しみにしている。イベントにとどまらず日常的な作法となつてこそ、そしてワインを提供するお店だけではなくその素材を提供する神田のお店をはじめ、多くの人の顔が見えてこそ、“ワインのまち”を標榜するにふさわしいと考える。じっくりと熟成してほしい。

## ■ NPO 法人芸術資源開発機構 (ARDA)

アートを身近に感じながら暮らすことは、柔軟な感性や美意識を育み、ものの見方や振る舞いにいたるまで人生を豊かにしてくれる。アートを通じて多彩なコミュニケーションがふくらむことはとても刺激的なひとときと考えるが、芸術資源開発機構の取り組みは、そこに“まち”が加わっていることが支援の大きな理由

である。アートの視点で街を捉えこれまでは違った千代田のまちの魅力を発見し、浮き彫りにしてもらいたい。その広がりが街を磨き上げることにつながるであろうと、今から報告が楽しみである。



奥村委員

## 片岡委員

### ■東京都青果物商業協同組合 やっちゃんば秋葉原実行委員会

審査会委員として3回目ですが、今までにない内容のグループだと思えます。そして、山東菜も今回はじめて聞く野菜です。一般部門にはじめてエントリーされて申請額に近い48万円という、ほとんど満額に近い決定金額に決まったと言う事は審査会委員の期待も大きいと思えます。江戸東京野菜も最近注目を集めています。ぜひとも幻の山東菜を食べてみたいので、食育と青果物の拡大が目的のイベント開催を楽しみにしています。私の母方の祖父が秋葉原のやっちゃんばで仕事に従事していたのも何かのご縁かもしれません。活躍を望みます。

### ■お茶の水ロボットクラブ

前回までエントリーされていたPCN秋葉原ASSEMBLAGEさんがエントリーされないという聞き、電気系のエントリーがないのかなあと心配していましたが、お茶の水ロボットクラブさん、かさらじお・どっとこむ@秋葉原さんの2つのグループがエントリーすることを知り、うれしくなりました。ロボットだけかなと思いきやドローンのプログラム体験も行うという事で子どもたちもワクワクすると思えます。先月、麹町大通り沿いのビル1階にドローンショップがオープンして町会員もびっくりしています。2020年から小学校でのプログラミング教育が必修化されると聞き、ぜひとも千代田区の小学生にもの作りの楽しさを伝えてほしいと思えます。



## 後藤委員

### ■三崎町SMILEプロジェクト

昨年は「はじめて部門」へ応募し、今年は一般部門への応募だが、学内での活動は3年目を迎えるという。神田三崎町は神保町駅と水道橋駅の間位置に位置して、交通至便の場所だが、両駅に向かう通過点となって町の魅力を十分に発信できていないと地元の日本大学の学生が感じたのだろう。昨年同様にパンフレットを作成してまちの魅力を発信、活性化に取り組むという。気をつけてほしいことは、学生側からの一方通行的な発信ではなく、紹介された飲食店の反応やクーポン券がどの程度使われてどういう効果があったのかなどを分析してほしい。幸いこの活動が学内でサークル化され新メンバーが増えて継続的な活動が可能だということから、進め方次第では1つの論文が作成できるほど内容が濃い活動になると思えます。

### ■かさらじお・どっとこむ@秋葉原

最初の印象が強烈だった。ビニール傘を片手に「これラジオです」。さすがに学校の先生だけあって人をひきつける話術にたけていらっしやる。聞き手に「何で音が聞こえるのだろう」と疑問を抱かせた瞬間に助成対象グループに選ばれたようなものだった。秋葉原がゲーム、アニメ、フィギュアなどの言葉に代表される街になって久しい。そこで秋葉原のポテンシャル「理科」をとおして子どもたちに「ものづくり」を体験してもらおう。何ともすばらしい構想だと思う。日用品と秋葉原で入手できる部品を合体して作るラジオに子どもたちは「なぜ？」という疑問を抱くだろう。そこから一步成長する子どもたちが多く育ってほしいと思う。応援団の元生徒さんたちの多さにも驚かされた審査会だった。



## 朝比奈委員

### ■文人通りギャラリーカフェ「学び舎」

3年目の応募をありがとうございます。これまで2年の間に、さまざまな参加者があり、自分からやりたいと手をあげる人も現れて活動の輪が着実に広がりました。皆さんが、参加者の声に耳を傾けて活動を進めてきたからだと思えます。また、楽しい時間を一緒に過ごすうち、ご近所や参加者どうしが、街への愛着や身近な人とのつながりのありがたさを自然と受け止めるようになったのではと想像します。今年度は、これから先の自立に向けて広報に力を入れるとのこと、ぜひ応援したいと思えました。看板や簡単なリーフレット1枚があることで参加者が広がると思いますが、毎日開催しなくても、活動がいつも目にとまるようになれば、

それが誰かにとって日々の支えになるかもしれません。また、周囲の期待がふくらむと、活動量が増えてしまいがちですが、活動する皆さんの日常に負担がかかり過ぎるのは良くないと思えます。楽しく活動してこそと思えますので、ひと休みなどしながら、ゆったりと、息の長い活動にしていってください。

### ■一般社団法人協働プラットフォーム

2年目の助成決定、おめでとうございます。変化の激しい神田の街において、活動の必要性は理解していましたが、作成した記録を広く共有するための活用方法が課題だと思っていました。そうしたところ、今年度は、神田駅構内にインターネットラジオ局のスタジオを借りて活動を進めるとのこと、期待が大ききふくら

んで、ぜひ応援したいと思いました。言うまでもないことですが、拠点には、活動が目に見えて伝わりやすい、人や情報につながる・蓄積できるなど、活動を面的にも継続的にも展開させる力があります。拠点のある強みを発揮して活動を前進させてほしいと思います。拠点を持つと、運営にはそれなりに人手も工夫も必要になりますが、そうした体制づくりはこれからの課題かもしれません。提案書にあるように、番組づくりに参加してもらって、一緒に進めながら、かかわる人や団体の輪を広げていけるといいと思います。まちサポのほかのグループとも、連携できたらすてきなと思っています。

### ■ Chee's

まちサポに再挑戦して下さってありがとうございます。グリーンマップは私も参加した経験がありますが、気軽にできる、まちの魅力を自分たちなりに伝えられる、仲間とコミュニケーション

が図れるなど、楽しかった思い出があります。グラフィック表現の得意な皆さんには、ぴったりのプログラムかもしれません。ところで以前から思うことですが、皆さんはメンバーどうしのつながりが、とてもしなやかですね。そこには、思いつきに目を向けるとか、皆でちゃんと楽しむとか、話すことに時間をかけるとか、脱線や寄り道もよしとするとか、人を大事に考えるチームワークがありそうです。人付き合いに悩み、まわりを気遣うあまり、みずから心を閉ざしてしまう人が増えている時代にあって、Chee'sの活動の柔らかさや優しさは、そうした人たちをも包み込んでくれるような気がします。Chee'sのパワーを発揮して、今まで以上にいろんな人と交わりながら、Chee's版グリーンマップづくりを進めてください。



## 堀田委員

### ■江戸長唄ごひいき衆

新しいものやアイデアでまちづくりを行うのではなく、江戸から続く伝統でこれからのまちづくりにチャレンジするグループの応募に新鮮さを感じました。当面は人々が長唄への親しむ機会をつくり、それに基づく人の交流が活動の主体かと思いますが、同好の士の集まりで終わらず、住みよいまちづくりに貢献できる活動へつなげてほしいと思います。花街が千代田区にあった歴史をきっかけに区内で活動を始めていますが、公開審査会に参加した、ほかの歴史に焦点をあてたグループや千代田区の花街の歴史研究を実施している区内の大学もあるので、そういったところとの連携もできれば、事業として厚みを持つこともできるのではないかと思います。

### ■神田錦町キンキン組

公開審査会に参加して知ったのは、区内には新旧住民の交流を深めたいと考える方がいて、特に古くからの住民の方々が、そのことを考えていることです。この公開審査会にも同様の考えを持つグループの参加があり、神田錦町キンキン組もそのひとつで、解決策として「もちつき」をテーマとしています。本年2月には行事を実施して、既存の町会の枠組みを越えたまちづくりを考え

ていました。今回は、惜しくも助成対象グループとはなりませんが、審査基準の1つである「活動を発展させるための助成効果」という点で「もちつき」から派生する具体策があればよかったと思います。新旧住民の交流は、千代田区のまちづくりに必要だと思いますので、ほかのグループの活動を参考に、再度チャレンジしてください。

### ■Chiyoda Bon-dance Mates

東京五輪音頭2020を踊って、友達をつくり、千代田区の魅力を発信しようとするグループです。多くの企業や各種団体は、五輪に向けて、活動をしています、五輪がゴールになり、その後が不透明と思っている人もいるのではないのでしょうか。千代田区内では、夏に数か所で盆踊り大会が開催され、歴史を重ね、地域の行事として根差し、継続的なまちづくりに貢献しています。よって、盆踊りはまちづくりに有効な活動と思いますが、千代田まちづくりサポート事業は、継続性が求められる事業ですので、今年度の活動を第一歩として、五輪をゴールとしない活動につなげてほしいと思います。



## 恩田委員

### ■秋葉原まちなコミュニティ

千代田区にオフィスが移転してから、短期間にここまで企画をまとめ上げたメンバーの行動力とバイタリティーには、舌を巻きました。防災を切り口に衣食住にフォーカスするアイデアも斬新です。プレゼンの中ではイベントの具体的なイメージをつかみきれず、どんな人に参加してもらい、そのつながりをまちづくりに広げていくのか、その構想を十分に受け止めることができませんでした。次回、若手の人、住んでいる人、勤めている人などさらに多くの人と意見交換をして、そこで得たさまざまな思いを積み上げ、この地域ならではの企画で審査会委員を動かしてほしいと思います。

### ■今昔千写

地域の過去と現在の写真、今後開発等によって様相が変わる場所の写真、これにエピソードを加えたものをデータベース化し、公開していこうという企画です。今動き出さないと失われてしまうという地域事情から、スピード感を持って、情報収集に取り組んでいただけるものと考えています。どのような写真があるのか、ふたを開けてみないとわからないため計画的な収集には困難が伴い、収集したエピソードを生かすために公開方法なども工夫を凝らす必要があります。こうしたことを乗り越え、地域に残っている映像と記憶を掘り起こし、2回目につなげてほしいと思います。



今日、8時間の間に、私にとってはたくさんの気づきがあった。グループの発表だけでなく、質疑応答や審査会委員の方々の言葉の中からも、いろいろと学ぶことができた。皆さんにとっても、実り多き8時間であったのであれば、うれしく思う。この公開審査会に応募して下さった皆さまと審査会委員の方々に、心からの敬意を表したい。同時に、こういう人々と活動を生み出す千代田という町にも尊敬の念を抱いている。

1つだけ思ったことは、もちろん皆さんは千代田区におり、千代田のことを思って活動しておられるのだが、やはり、一つ一つの活動を見ていると改めて思う。「いったい千代田というのは何か？」という事。つまり、そこには「まち」という単位がもう少し、しっかりあるのではないかと。「まちづくり」の「まち」とは何か？

そう考えると、決して、「千代田区」というモノではなく、お互いの顔が見える範囲、あるいは、掘り下げるべき範囲というのは、もう少し小さいのではないかと。そう感じた。これは、あくまで、私なりの感じ方、考え方だが、そんなことを改めて思った。

例えば最後の方のアーカイブ系の活動は、どちらも「千代田」という「まち」に対する思いや入り込み方、関り方がどうしても浅くなってしまっているのではないかと。

そんな印象を受けている。別にそれは千代田区という単位で活動するのが悪いというわけではなく、そういうエントリーもあるのだが、やっぱり、「まちづくり」の「まち」というのは、人と人とが直接的に出会い、関係を築き持続する。お互いの顔がわかり、見える。そういうものではないだろうか。

「足元を掘れば、泉が湧く」という言葉がある。一つの地区の足元を深く深く掘って行って、結果としてそこに泉が湧く。それが湧いて来るとそこからいろいろなものが生まれ、溢れてほかの地域にも広がっていく。さまざまな泉が千代田区の中に湧いて、それがやがて大きな一つの湖になる。そんなことを私は感じた。もう一度改めて、自分にとって、「まちづくり」の「まち」とは、どういう範囲なのか、「まち」というのは何だろうか？それぞれに意識して、考えを深めながら活動を進めて行っていただきたいと思う。

すでに、今日、採択されたグループは、そういう「まち」を独自に持っているグループだと思われる。これから応募したいと考えている方や、残念ながら今日は、助成には至らなかった方も、改めて一度、「まち」についての考えをしっかりと持って、まさに私も、今日それを学んでいるわけだが、次回の応募の時には、ぜひ提案していただきたいと思った。

千代田区全体を対象にすることも、決して悪くはないが、ある地域を扱うことと、千代田全体を扱うことにはおのずと違いがあって、全体を扱うのは無理というか、今、申し上げたような意味で、どうしても浅くなるのではないかと。そのことだけは、頭に入れておいてもらいたいと、せん越ながら、申し上げる次第です。また、ご理解いただければ幸いです。

ともあれ、今日は皆さん、お疲れさまでした。本当にありがとうございました。



## 第18回千代田まちづくりサポート審査表

| 部門     | 回数 | 団体名                       | 一次審査                         |                                       |                                    | 二次審査       | 申請額<br>(万円) | 助成額<br>(万円) |
|--------|----|---------------------------|------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|------------|-------------|-------------|
|        |    |                           | ★活動内容を支持し、今回のサポート助成が必要だと考える。 | ■活動内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい。 | ▲意義ある活動内容だが、サポート助成の趣旨にはなじみにくいと考える。 | ●活動内容を支持する |             |             |
| 一般     | 3  | 文人通りギャラリーカフェ「学び舎」         | ★★★★★★                       |                                       |                                    | ●●●●●●●●   | 37          | 36          |
| 一般     | 3  | 神田プロレス                    | ★★★★★★                       |                                       |                                    | ●●●●●●●●   | 50          | 49          |
| 一般     | 2  | 一般社団法人神田をワインの街にしようの会      | ★★★                          | ■                                     |                                    | ●●●●●●●●   | 50          | 48          |
| 一般     | 2  | ちよロケ（ちよだロケーションサービスをつくる会）  | ★★                           | ■                                     |                                    | ●          | 50          | 0           |
| 一般     | 2  | 一般社団法人 協働プラットフォーム         | ★★★★★★                       | ■                                     |                                    | ●●●●●●●●   | 50          | 49          |
| 一般     | 2  | Chee's                    | ★★★★★★                       | ■                                     |                                    | ●●●●●●●●   | 46          | 42          |
| 一般     | 1  | 三崎町SMILEプロジェクト            | ★★★★                         | ■                                     |                                    | ●●●●●●●●   | 18          | 18          |
| 一般     | 1  | 江戸長唄ごひいき衆                 | ★★★                          | ■                                     |                                    | ●●         | 50          | 16          |
| 一般     | 1  | かさらじお・どっとこむ@秋葉原           | ★★★★★★                       | ■                                     |                                    | ●●●●●●●●   | 32          | 32          |
| 一般     | 1  | 東京都青果物商業協同組合やっちゃば秋葉原実行委員会 | ★★★★★★                       |                                       |                                    | ●●●●●●●●   | 50          | 48          |
| 一般     | 1  | 秋葉原まちのコミュニティ              |                              | ■                                     | ▲▲▲▲▲▲                             |            | 50          | 0           |
| 一般     | 1  | 今昔千写                      |                              | ■                                     |                                    | ●          | 50          | 14          |
| 一般     | 1  | ちよだ♥チェーン（ちよだで遊ぶ会）         |                              | ■                                     | ▲▲▲▲▲▲                             |            | 40          | 0           |
| 一般     | 1  | 神田錦町キンキン組                 |                              | ■                                     | ▲                                  |            | 50          | 0           |
| 一般     | 1  | お茶の水ロボットクラブ               | ★★                           | ■                                     |                                    | ●●●●●●     | 40          | 34          |
| 普請（一次） | -  | 「神田珈琲園」再生プロジェクトチーム        |                              |                                       |                                    | ●●●●●●     | 10          | 10          |
| はじめて   | -  | NPO法人芸術資源開発機構（ARDA）       |                              |                                       |                                    |            | 5           | 5           |
| はじめて   | -  | Chiyoda Bon-dance Mates   |                              |                                       |                                    |            | 5           | 5           |

書類選考



## 千代田まちづくりサポート「テーマ部門」のテーマ設定者を募集しています。

### ■テーマ部門とは

企業や団体などが求めているテーマや分野について、まちづくりサポートの審査を経ることで、品質を担保しながら市民からの活動を募集する部門です。

### ■千代田まちづくりサポートの場を活用していただく意味

千代田まちづくりサポートは、助成グループや助成金を決定するに当たり公開の場で審査を行います。これにより、審査に公平性が生まれるとともに、審査会委員からの意見や、他の応募グループとの情報交換・連携により、活動がさらに充実したものにすることが可能となります。また、募集に当たっては、まちみらい千代田から広報します。

### ■これまでの実績

- ・テーマ設定者…(公財)まちみらい千代田(第15回)
  - (1) マンションコミュニティに関する提案
  - (2) まちづくりサポートに関する提案

- ・テーマ設定者…千代田区(第16回)
  - ちよだマンション・カフェ

### ■テーマの例

- ・商店街の活性化を手助けしてもらえたい企画を募集したい。
- ・企業の社史編纂にあたり調査をしてほしい。

### ■テーマ設定者になるには

- (1) 設定するテーマと助成金額などについて、事務局にご相談ください。
- (2) テーマ設定者は審査会委員の一員として、「公開審査会」、「中間発表会」、「活動成果発表会」、「その他、運営に関連する会議等」に出席し、審査等に加わっていただきます。
- (3) 公開審査会後は、助成を決定したグループへ助成金を支給していただきます。(1グループにつき最高50万円)
- (4) 助成決定後は継続して助成グループや事務局と、活動の情報共有を図ってください。

## ■まちづくり事業推進のため、財団の趣旨に賛同し、ご支援くださる賛助会員を募集しています。

### 公益財団法人まちみらい千代田 賛助会員一覧(敬称略)

平成30年8月現在

| 【法人会員】  |  | 【個人会員】              |                        |
|---------|--|---------------------|------------------------|
| 業種      | 会員名                                      | 業種                  | 会員名                    |
| 金融      | (株)きらぼし銀行 神田中央支店                         | その他                 | (株)FEA                 |
|         | 興産信用金庫                                   |                     | 大塚製菓(株)東京支店            |
|         | 西武信用金庫 神田支店                              |                     | KKテクノロジーズ(株)           |
|         | みずほ信託銀行(株)                               |                     | (株)弘周舎                 |
| 建築土木    | (株)エコ・24                                 |                     | ゴージャージャパン(株)           |
|         | (株)久保工                                   |                     | (株)こどもの館               |
|         | (株)竹中工務店                                 |                     | (株)コンベンションリンケージ        |
|         | (株)ナカノフドー建設                              |                     | (株)住宅あんしん保証            |
| 建設設計    | (一社)改修設計センター                             |                     | 鈴新(株)                  |
|         | (株)楠山設計                                  |                     | (株)すららネット              |
|         | (株)翔設計                                   |                     | 瀬味証券印刷(株)              |
|         | (一社)東京都建築士事務所協会千代田支部<br>パシフィックコンサルタンツ(株) |                     | (株)TALO都市企画            |
| 緑花・環境   | 日産緑化(株)                                  |                     | (一社)千代田区観光協会           |
|         | (株)日昇緑化研究所                               |                     | (株)ツツキ                 |
| 広告代理    | (株)フィレール                                 |                     | 東京スクリーン(株)             |
| 不動産     | エヌティティ都市開発(株)                            |                     | 東洋美術印刷(株)              |
|         | 協永ソフトエンジニアリング(株)                         |                     | (株)トキワ                 |
|         | 住友不動産(株)                                 |                     | (株)巴商会                 |
|         | 天翔ビルディング(株)                              |                     | 日新火災海上保険(株)東京事業部 東京西支店 |
|         | 東京建物(株)                                  |                     | (株)日精ピーアール             |
|         | プラットフォームサービス(株)                          |                     | ノーラエンジニアリング(株)         |
|         | 三井不動産(株)                                 | (株)バイオレンジャーズ        |                        |
|         | 三菱地所(株)                                  | (株)ハセツパー技研          |                        |
|         | 安田不動産(株)                                 | ハネクトーン早川(株)         |                        |
| IT関連    | (株)メディアリンク                               | (株)フォトロン            |                        |
| コンサルタント | NPO法人都市住宅とまちづくり研究会                       | 富士ゼロックス(株)          |                        |
| その他     | (株)i-tec24                               | (一社)マンション管理組合支援センター |                        |
|         | (株)アズーム                                  | (株)ムレコミュニケーションズ     |                        |
|         | (株)イサミヤ                                  | ヨシモトポール(株)          |                        |
|         | ウェブリオ(株)                                 | (株)リブリッジ            |                        |
|         | (有)エイアイ企画                                | (株)ワンスイン            |                        |

(法人:63 個人:18 計:81)